

■建設経済委員会

●一般会計補正予算（第5号） —農業施設復旧事業補助金—

Q 本当に困っている方たちへの支援等が目的であったら、期限を今年度中と区切るべきではないと考えるが、申請受付及び事業完了の期間を区切った理由は何か。

A 本年度予算の中での事業ということで、2月15日までの受付、3月31日までの修繕等の完了と設定した。今後、JAの部会や農業委員会、農業委員会だより等で、広く農業者に周知していきたい。

●袋井市労働者福祉センター（サンライフ袋井）の指定管理者の指定

Q 指定管理をしていく中で、地域に密着した活気ある施設となるよう努力いただくとともに、外部からのノウハウと袋井の文化との調和を図ってほしい。また、老朽化している施設のグレードアップ化など、今一度検討していただきたいがどうか。

A 指定管理業者と近隣企業や地域の方々との連携の上で、管理運営を進めていきたい。また、老朽化している箇所は、運営の中で、指定管理者と一緒に対応していきたい。



労働者福祉センター（サンライフ袋井）

■民生文教委員会

●一般会計補正予算（第5号） —訓練等給付金（障害者福祉事業費）—

Q 6,550万円増額されているが、平成23年度に入って利用者が急増したことによる補正なのか。

A 就労移行施設等への通所者が増えたための増額である。通所者は、平成22年4月は39人だが、平成23年4月は65人、9月は79人と、人数が大幅に増えている。

●袋井市月見の里学遊館ほか1施設の指定管理者の指定

Q 応募があった2社の比較で選択したということだが、2社のうちのどちらかで決めるという大前提で選定をしていないか。基準に達していない場合は、両社とも不採用という考え方が必要ではないか。

A 審査の結果、どちらの業者も一定の基準を満たしていると判断した。月見の里学遊館は、市民の力を借りながら協働で運営している中で、地元根ざした文化に強い力がある文化協会グループが、大きな評価を受けた。



月見の里学遊館・月見の里公園